

# 令和4年度9月補正予算 主要事業

## ①原油価格・物価高騰対策

単位：千円

事業名	金額	説明
(新規) 私立学校における物価高騰対策	105,227	○私立学校に対して、原油価格・物価高騰に伴う光熱費や燃料費、食材費高騰による給食費の増加分を補助。  ・私立学校 108校 105,227千円
私学・子育て支援課		
(新規) 保育所等における物価高騰対策	332,345	○保育所等、放課後児童クラブに対して、原油価格・物価高騰に伴う光熱費や燃料費、食材費高騰による給食費の増加分を補助。 (各市町村で実施する補助事業の1/2を補助) ○子どもの居場所提供団体に対して緊急的に運営費を補助し、物価高騰下での子どもの居場所の継続的な提供を支援。  ・保育所等、放課後児童クラブ 327,185千円 ・子どもの居場所 5,160千円
私学・子育て支援課		
(新規) 児童養護施設等における物価高騰対策	18,722	○児童養護施設等に対して、原油価格・物価高騰に伴う運営経費の増加分を補助。  ・児童養護施設等 18,722千円
児童福祉・青少年課		
(新規) 就労継続支援事業所への利用者工賃等確保支援	60,500	○原油価格・物価高騰の影響を受けた障害者就労継続支援事業所に対し、利用者の工賃等の確保を図るため、原材料等の必要な経費を補助。  ・補助金500千円(上限)×120事業所=60,000千円 ・その他事務費 500千円
障害政策課		
(新規) 障害児施設における物価高騰対策	23,093	○障害児入所施設、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所に対して、原油価格・物価高騰に伴う光熱費や燃料費、給食費の増加分を補助。(価格高騰分の1/2を補助)  ・障害児入所施設 1,900千円 ・児童発達支援 10,035千円 ・放課後等デイサービス 8,285千円 ・事務費 2,873千円
障害政策課		
(新規) きのこ等生産事業者の省エネ機器導入支援	5,126	○燃油価格高騰の影響を受けにくい経営への転換を図るため、省エネ機器等の導入を支援。  ・事業主体：きのこ等生産事業者 ・整備内容：燃油式ボイラーから電気式ヒートポンプへの入れ替え ・補助率：1/2
林業振興課		

事業名	金額	説明
(新規) ぐんま施設園芸省エネ転換 緊急対策	463,675	○燃油使用量15%以上の削減に取り組む農業者に対し、省エネに資する設備等の導入経費の補助を行い、燃油価格高騰の影響を受けにくい経営への転換を支援。 ・対象者：令和4年度施設園芸セーフティネット構築事業に加入している農業者 ・補助内容：ヒートポンプ、循環扇、保温カーテンの多層化、保温性の高い内張資材等の導入 ・補助率：1/2以内
蚕糸園芸課		
(新規) 酪農経営緊急対策支援	369,530	○輸入飼料の価格高騰等の影響を受けている酪農家に対する緊急対策支援等を実施。 (1) 粗飼料価格高騰対策支援 336,180千円 県内の酪農家に対し、粗飼料価格高騰分の1/2相当額を補助。 ・支援金：1頭あたり14,600円 (2) 県産飼料拡大・未利用資源活用 33,350千円 輸入飼料から国産飼料への転換を図るために、県産飼料の増産等に必要な農業用機械の導入に係る経費の1/2を補助。 ・対象者：県産飼料生産の規模拡大に取り組む県内の飼料生産組織、耕種農家、畜産農家 ・補助対象：県産飼料生産拡大に資する農業用機械 ・補助率：1/2
畜産課		
(新規) 給食食材費の高騰に係る保護者負担軽減（県立特別支援学校）	4,637	○給食食材費の高騰に対し、保護者負担の軽減を図るため、食材費高騰の影響額分を自校式給食実施校の私費会計へ補助。
健康体育課		

## ②新しい群馬を切り拓くための「未来への投資」

事業名	金額	説明
(新規) バイオマス地産地消対策	5,000	○地域循環型システムの構築に向け、地域内のバイオマス（事業系生ごみ）を活用したメタン発酵による発電施設の新設整備に向けた基本設計等に対し補助。 ・補助率：1/2（国10/10、上限5,000千円） ・補助額：5,000千円×1件＝5,000千円
グリーンイノベーション 推進課		
(新規) EVカーシェアリング実証 実験	債務負担行為 [220,900]	○県庁及び地域機関におけるEV公用車の導入に当たり、カーシェアリングによる様々な活用方法について実証実験を行う。 (実証期間：R5～R8) (1) EV公用車導入 ・県庁及び複数の合同庁舎に、合計20台のEV公用車を導入。 (2) 共同利用 ・近隣自治体等との共同利用を実施。 (3) 地域レジリエンスの強化 ・非常時の「動く蓄電池」として活用。 (4) 観光地における移動の最適化 ・公用車として使用しない休日については、観光地等におけるシェアカーとして活用。
グリーンイノベーション 推進課		

事業名	金額	説明
(新規) 県民広場の再整備	44,000	○県民広場の有効活用を図るため、広場に設置されているモニュメントの撤去及び芝生の張替等を実施する。また、モニュメント撤去に伴い、新たに館銘板を設置する。
財産有効活用課		
アーティストックGUNMA (1% for art)	1,600	○群馬版「1% for art」の理念実現に向け、「アーティスト支援」「アート教育・体験」「地域振興・経済効果」の循環をより一層図るため、具体的な制度の導入検討を実施。
文化振興課		
(新規) 映像クリエイティブ拠点化	29,995	○本県をデジタル映像クリエイティブ拠点として確立するための第一歩として、Gメッセ群馬にデジタル映像制作に必要なグリーンバックの設置などを行うとともに、今後に向けた調査を実施する。 (1) スタジオ機能強化 19,863千円 グリーンバックの設置、制作会社向けプロモーション (2) 最先端デジタル撮影技術に係るニーズ及び設置調査 10,132千円
eスポーツ・新コンテンツ 創出課		
Ma a S社会実装支援	62,250	○自家用車への過度な依存から公共交通への転換を促すため、Ma a Sシステムを構築し、実装する。 ※デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択に伴う増額。 現計予算額 200,000千円 → 採択額 262,250千円
交通政策課		
(新規) 川場薄根発電所(仮称)建設	(電気事業会計) 債務負担行為 [734,800]	○「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向けた再生可能エネルギーの導入促進のため、川場村の薄根川を利用した小水力発電所を新たに建設。 最大出力：198kW(小水力発電所) スケジュール：R5 実施設計 R6～R8 建設工事 R8年度中 運転開始
(企) 発電課		

### ③喫緊の課題への対応

事業名	金額	説明
(新規) マイナンバーカード取得促進	10,271	○マイナンバーカード第2弾の申込支援希望者急増に伴う市町村窓口混雑の緩和を図るため、令和3年度と同様に、市町村庁舎等への出張申請窓口を設置。 ・実施期間：R4.12月～R5.2月(予定)
業務プロセス改革課		
(新規) 行政県税事務所等窓口への セミセルフレジスター導入	33,823	○感染症対策や県民の利便性向上のため、行政県税事務所等の収納窓口にて、金銭を自動精算するセミセルフレジを導入。 ①導入事務所 全行政県税事務所(11事務所)、自動車税事務所 ②導入によるメリット ・納税証明書の発行手数料が現金支払にも対応(現在は証紙での支払のみ) ・現金の手渡しでのやりとりがなくなることによる衛生面の向上
税務課		

事業名	金額	説明
(新規) 私立学校における修学旅行 の中止や延期に伴う追加的 経費への支援	23,945	○保護者の負担軽減を図るため、私立学校において修学旅行が中止や延期となった場合に発生する料金を補助。  ・私立学校 26校 23,945千円
私学・子育て支援課		
(新規) 群馬県リトルベビーハンド ブック作成	1,000	○1500g未満で出生した極低出生体重児の保護者の支援を目的としリトルベビーハンドブックを作成する。 ・作成委員会開催 ・冊子作成等
児童福祉・青少年課		
介護職員処遇改善支援	311,989	○介護職員等の賃金改善に取り組む介護事業者への補助について、補助金の支払状況等を勘案し、増額補正。 (現計予算1,266,103千円→補正後1,578,092千円)  対象施設：処遇改善加算の取得等、要件を満たす施設・事業所 対象経費：職員に対するR4.2月～9月の賃金引上げ分
介護高齢課		
豚熱対策	600,000	○豚熱の多発を受けて、イノシシ捕獲等を強化するとともに、防疫措置等を機動的に実施するための対応経費を増額。 (1) イノシシ捕獲強化(既決予算を活用して早急に実施) 豚熱の発生が多発している赤城南面地域におけるイノシシ捕獲対策を強化。 ・最新鋭ドローンの導入による生息・出没情報の把握 ・ネット囲い罠による群れ捕獲の実証試験 (2) 河川内緩衝帯整備 100,000千円 イノシシの出没・移動を抑えるため、河川内の伐木・除草を行う緩衝帯整備を追加で実施。 (3) 特定家畜伝染病対策調整費 500,000千円 今後、豚熱が発生した場合に機動的に防疫措置が実施できるよう対応経費を増額。
技術支援課・畜産課		
(新規) eスポーツ普及支援プロジェクト	3,000	○企業版ふるさと納税を活用し、県内でのeスポーツの普及を図るため、eスポーツ大会・イベントを開催する高校や団体、企業等へ無償で貸し出すゲーミングPCを整備する。 ・ゲーム用PC、モニタ、キーボード、マウス一式 300千円×10台分
eスポーツ・新コンテンツ 創出課		
補助公共事業	5,230,625	○県土整備プランの政策を着実に推進するため、公共事業費を増額。 ※国庫事業の内定に伴う増額  ・災害レジリエンスNo.1の実現 1,847,770千円 ・持続可能で効率的なメンテナンス 552,828千円 ・多様な移動手段の確保 2,809,027千円 ・その他 21,000千円
県土整備部		
(新規) 県立高等学校特別教室空調 整備	120,000	○新型コロナウイルス感染症対策と夏季の熱中症対策を図るため、県立高等学校の特別教室(25校・25室)に空調設備を整備。 ・音楽室 9室 ・実習室 9室 ・調理室等 7室
管理課		

事業名	金額	説明
県立学校運営費（電気料高騰対応）	172,731	○電気料の高騰により、県立高等学校及び特別支援学校の電気料にかかる予算に不足が見込まれるため増額。 ・当初予算額448,330千円 → 執行見込621,061千円
管理課		
夜間中学設置促進	4,800	○令和6年4月の県立夜間中学校の開校に向けて県総合教育センター体育研修棟を改修するため、設計業務の委託を行う。 ・夜間中学校整備事業実施設計業務 4,800千円
義務教育課・管理課		
（新規） 県立学校における修学旅行の中止や延期に伴う追加的経費の支援	46,559	○保護者の負担軽減を図るため、県立学校において修学旅行が中止や延期となった場合に発生する料金を支払うもの。 ・県立高校分（中央中等含む） 60校 45,618千円 ・県立特別支援学校分 23校 941千円
高校教育課・特別支援教育課		
（新規） 社会教育施設トイレの洋式化	39,897	○コロナ対策及び利便性・快適性の向上のため、社会教育施設の和式トイレの洋式化工事を実施。 ・ぐんま昆虫の森 15基 ・北毛青少年自然の家 21基 ・東毛青少年自然の家 12基 ・青少年会館 6基
生涯学習課		
交通安全施設整備	90,460	○交通安全対策を強化するとともに、電気料の高騰に対応し、信号機等電気料を増額。 ・横断歩道の塗替え 50,000千円 早急に対応すべき横断歩道の塗替え（300箇所相当） ・信号機等電気料の増額 40,460千円 当初予算額201,000千円 → 執行見込241,460千円
交通規制課		

#### ④財政健全化

事業名	金額	説明
財政調整基金積立	17,378,949	○R3年度決算剰余金21,851,934千円のうち、 ①コロナウイルス関連国庫返還予定額 12,905,963千円 ②決算剰余金から上記①を除いた額の1/2 4,472,986千円を財政調整基金に積み立て。 (9月補正後残高 406億円)
財政課		